

2020 年 11 月 20 日

会 社 名 株式会社松屋アールアンドディ
代表者名 代表取締役社長 C E O 後藤 秀隆
(コード：7317 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役 C F O 経営管理部長 松川 浩一
(TEL. 0779-66-2096)

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

下記の通り、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

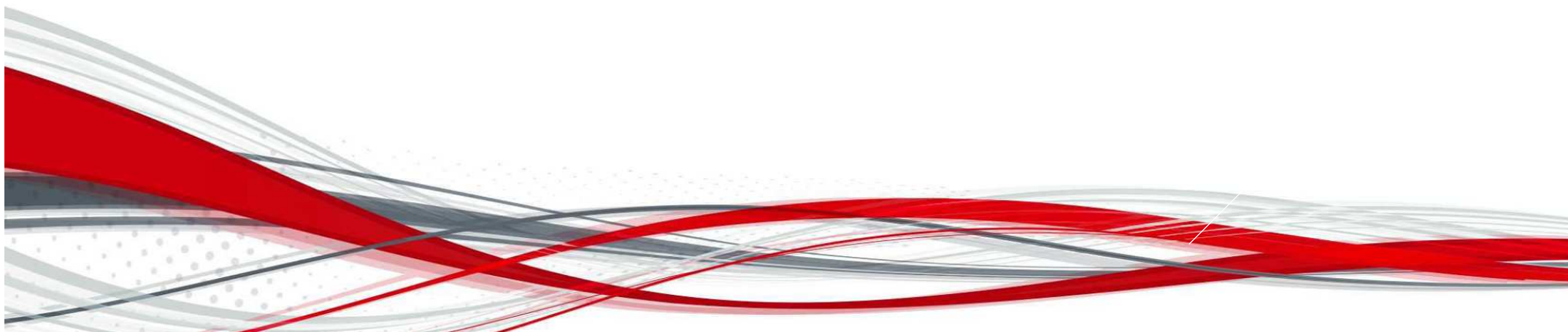
開催日時 2020 年 11 月 19 日（木）16：00～16：50
開催方法 ライブ配信
開催場所 当社 大野本社
説明会資料名 2021 年 3 月期第 2 四半期 決算説明会資料

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

以 上

2021年3月期第2四半期 決算説明会資料

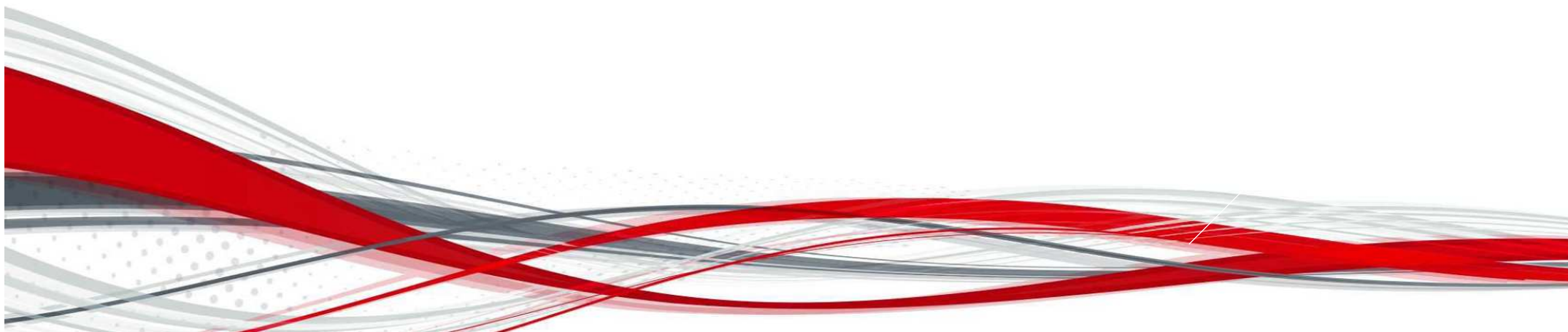


目次

1. 2021年3月期第2四半期実績	3
2. 2020年度（2021年3月期）業績予想	8
3. 今後の成長戦略	10
4. （参考）会社概要	18



2021年3月期第2四半期実績



2021年3月期第2四半期実績：サマリー

- ・売上総利益率は**1.3ポイント上昇**。
- ・販管費も旅費交通費を中心に削減。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益が**見通し比で約2倍に大幅増益**。
(参考)

	2021.3 2Q見通し (百万円)	2021.3 2Q実績 (百万円)	見通し比	2020.3 通期実績 (百万円)
売上高	4,000	4,105	102.6%	8,631
売上総利益	580	650	112.1%	1,207
売上総利益率	14.5%	15.8%	—	14.0%
営業利益	180	313	174.2%	407
経常利益	180	280	156.0%	380
税金等調整前 当期純利益	180	280	156.0%	380
親会社株主に帰属する 当期純利益	120	244	203.5%	223
1株当たり当期 純利益 (円)	46.54	94.69	203.5%	99.13

※見通しは2020年7月8日提出時の数値を用いております。

2021年3月期第2四半期実績：セグメント別売上高&利益 株式会社 松屋R&D

- ・縫製自動機事業はコロナ禍の影響があったものの、利益率の高いものに注力して、コストコントロールを図った結果利益は見通しより増加しました。
- ・縫製品事業において、特に血圧計腕帯が主力品目を中心に生産量が増加したことから、利益率が上昇しました。カーシートカバー及びエアバッグも7月より北米向けの車種を中心に受注が大幅に回復しました。また、事業会社及び厚労省よりアイソレーションガウンを受注し、売上高及び売上総利益の増加に貢献しました。

	2021.3 2Q見通し (百万円)	2021.3 2Q実績 (百万円)	2020.3 実績 (百万円)	見通し比
売上高	4,000	4,105	8,631	102.6%
縫製自動機事業	237	184	875	77.9%
縫製品事業	3,829	3,939	7,762	102.9%
調整額	△66	△18	△7	—
セグメント利益	180	313	407	174.2%
縫製自動機事業	5	16	△115	335.3%
縫製品事業	311	412	736	132.6%
本社費&調整額	△136	△115	△213	—

2021年3月期第2四半期実績：連結キャッシュ・フロー計算書



	2019.3 実績 (百万円)	2020.3 実績 (百万円)	2020.9 実績 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8	219	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119	△41	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	330	35	320
現金及び現金同等物の換算差額	△15	△3	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	203	210	343

	2019.3 実績 (百万円)	2020.3 実績 (百万円)	2020.9 実績 (百万円)
減価償却費	89	205	106
設備投資	△178	△41	△33

営業活動によるキャッシュ・フロー
利益は好調なものの、受注の増加により売上債権、棚卸資産、仕入債務が増加し、キャッシュ・フローとしては63百万円の増加となっております。第3四半期以降で回収が進み、さらに良化する見込み。

投資活動によるキャッシュ・フロー
主に松屋ベトナムにて16百万円（機械装置）、タカハターにて11百万円（機械装置）の設備投資の実施。

財務活動によるキャッシュ・フロー
主にIPOによる資金調達による増加。

以上の結果、現金及び現金同等物が343百万円の大幅な増加となりました。

2020年9月末実績：連結貸借対照表

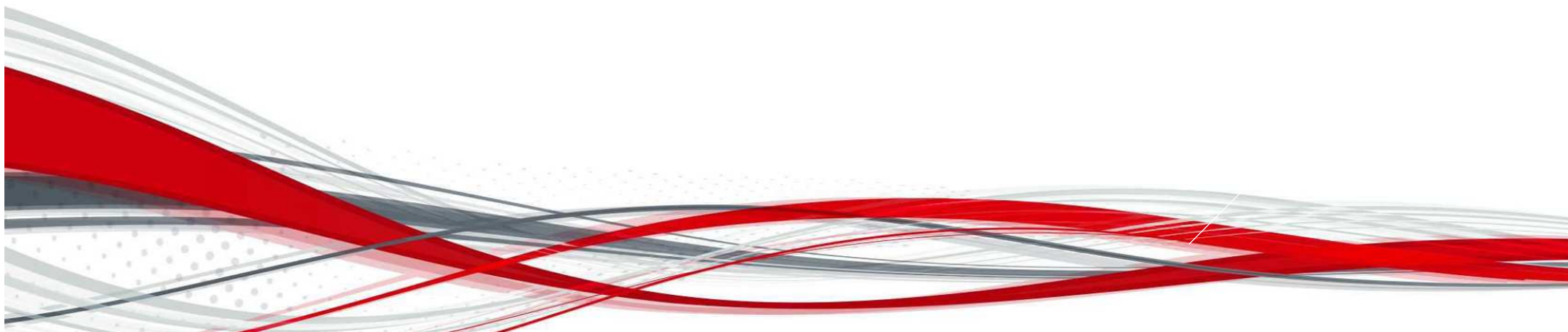
	2019.3 実績 (百万円)	2020.3 実績 (百万円)	2020.9 実績 (百万円)
現金及び預金	565	768	1,108
売上債権	824	1,105	1,590
棚卸資産	1,874	1,945	2,121
有形無形固定資産	557	966	888
その他	269	267	300
資産合計	4,091	5,054	6,009
仕入債務	1,009	1,042	1,286
借入金（長期含む）	907	1,045	1,135
リース債務（長期含む）	64	562	490
その他	333	402	585
負債合計	2,313	3,051	3,498
純資産	1,777	2,002	2,511
負債純資産合計	4,091	5,054	6,009

・IPOによる資金調達及び
上期における業績良好なこと
から、当座比率（79%
→93%）に良化しました。

・当座貸越の極度額を増額し、
今後の資金需要に機動的に
対応できるよう体制の整備が
完了しました。

・売上債権及び仕入債務の
増加は第2四半期以降急激
に受注が増加したことによるも
のとなります。

2020年度（2021年3月期）業績予想



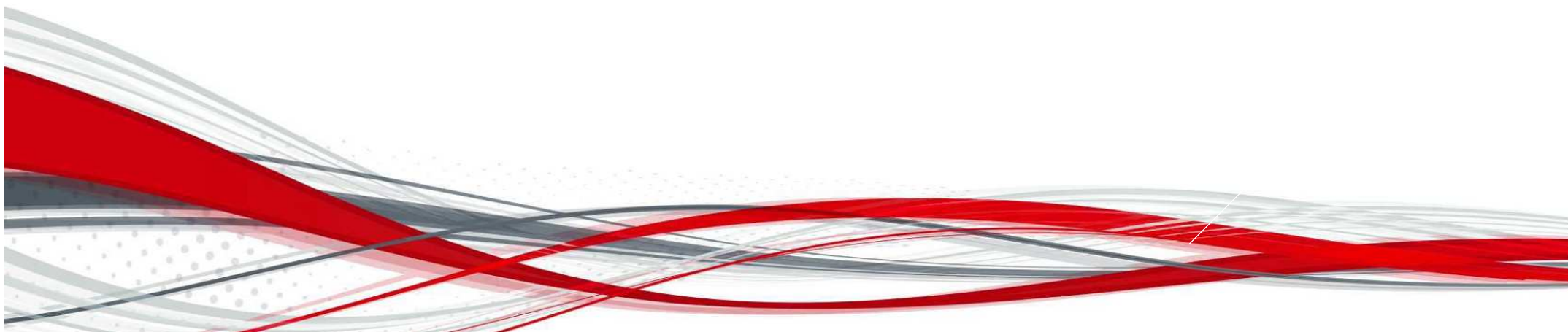
2020年度（2021年3月期）業績予想

- ・ 2020年度の業績予想はひとまず下記の通りとなります。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の収束時期が依然として不透明なことから、通期の業績予想は据え置きさせていただいておりますが、第2四半期の進捗率は非常に良好であり、現状の状況が続けば、このまま好調が維持できるものと思われます。
- ・ 開示すべき事項が生じた場合は、速やかにご報告させていただきます。

	2020.3 通期実績 (百万円)	2021.3 通期見通し (百万円)	2021.3 2Q実績 (百万円)	進捗率
売上高	8,631	9,000	4,105	45.6%
営業利益	407	410	313	76.5%
経常利益	380	390	280	73.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	223	270	244	90.4%
1株当たり当期 純利益（円）	99.13	104.31	94.69	—

今後の成長戦略

今までにない領域を開拓し、ナンバーワンを目指します



事業内容

弊社はミシンメーカーではありません。また、単なる縫製工場でも、自動車部品メーカーでもありません。

縫製工程の自動化を提供する縫製自動機事業および

縫製のノウハウ、工程自動化など独自技術を活用した製造受託を行う縫製品事業、

この2つの事業を活かして持続的な成長を目指す企業です。

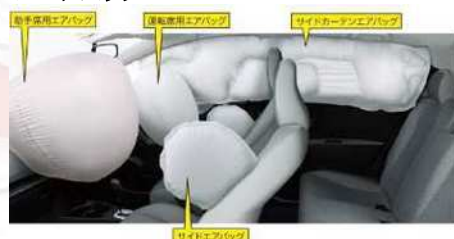
縫製品事業

- 各種縫製品の製造

▼ 血圧計腕帯 ▼ カーシート



▼ エアバッグ



縫製自動機事業

- 自動車安全装置縫合システムの開発・製造・販売
- レーザー裁断機の開発・製造・販売
- 医療用自動化ラインの開発・製造・販売



当社を取り巻く業界の変化予想及び今後の取組

自動機事業（ソーイングオートメーション）

1) あらゆる分野で産業用ロボット需要が増大

人手不足や自国内生産対応のための自動化生産対応の需要がコロナ禍でさらに加速が見込まれます。

A I ソーイングロボットや画像検査装置など次世代自動機の開発・製造・販売及び関連メーカーと業務提携

2) ロボットSI（ロボット・システムインテグレーター）需要の増加

生産現場へのロボット導入を設計する専門職の需要が急増すると見込まれます。

ベトナムM I Cの技術者育成（現在12名、来年末を目標に30名規模にまでに拡大）

3) メディカルヘルスケア分野の拡大

新型コロナウイルスだけでなく、今後の感染症対策も含め日本製の医療用製品の自動化需要も拡大していく見込み。

メディカル部門及び防護服等の製造自動機の開発・製造・販売及び素材メーカーとの業務提携

4) アメリカ大統領選挙の影響

メキシコとアメリカ間の貿易も回復が見込まれ、メキシコにおける自動車部品工場の生産拡大が見込まれます。

販売促進の強化、人材の多様化（外国人採用も実施）

当社を取り巻く業界の変化予想及び今後の取組

縫製品事業（ソーイングプロダクト）

1) 国によるサプライチェーンの見直し

ローコスト生産品については賃金高騰が激しい中国やタイでの生産を、安価かつ安全なベトナムでの生産委託需要が増えると予想されます。

受託先の拡大（すでに複数の商談あり）

2) 大きな業界再編

コロナ禍で当社を取り巻く業界においても大きな事業変化が起きております。

積極的なM & A，業務提携の活用

3) 大手企業のファブレス化

変化の激しい環境にある中、需要の大きな変化に対応するため、ファブレス化が進んでおります。

弊社製レーザー裁断機を使用し、裁断に特化した事業を展開

当社を取り巻く業界の変化予想及び今後の取組

新規事業

1) ドローンの市場拡大

配達用など市場の拡大に伴い、安全装置としてドローン用エアバッグの需要が見込まれます。

ドローン用エアバッグの開発・製造・販売に注力

(通常時)



(エアバッグ展開時)



世界初

当社を取り巻く業界の変化予想及び今後の取組

新規事業

次世代空モビリティ用エアバッグの開発（初公開）

異常飛行を検知して、エアバッグが展開し、衝突ダメージ、水没リスク軽減します。



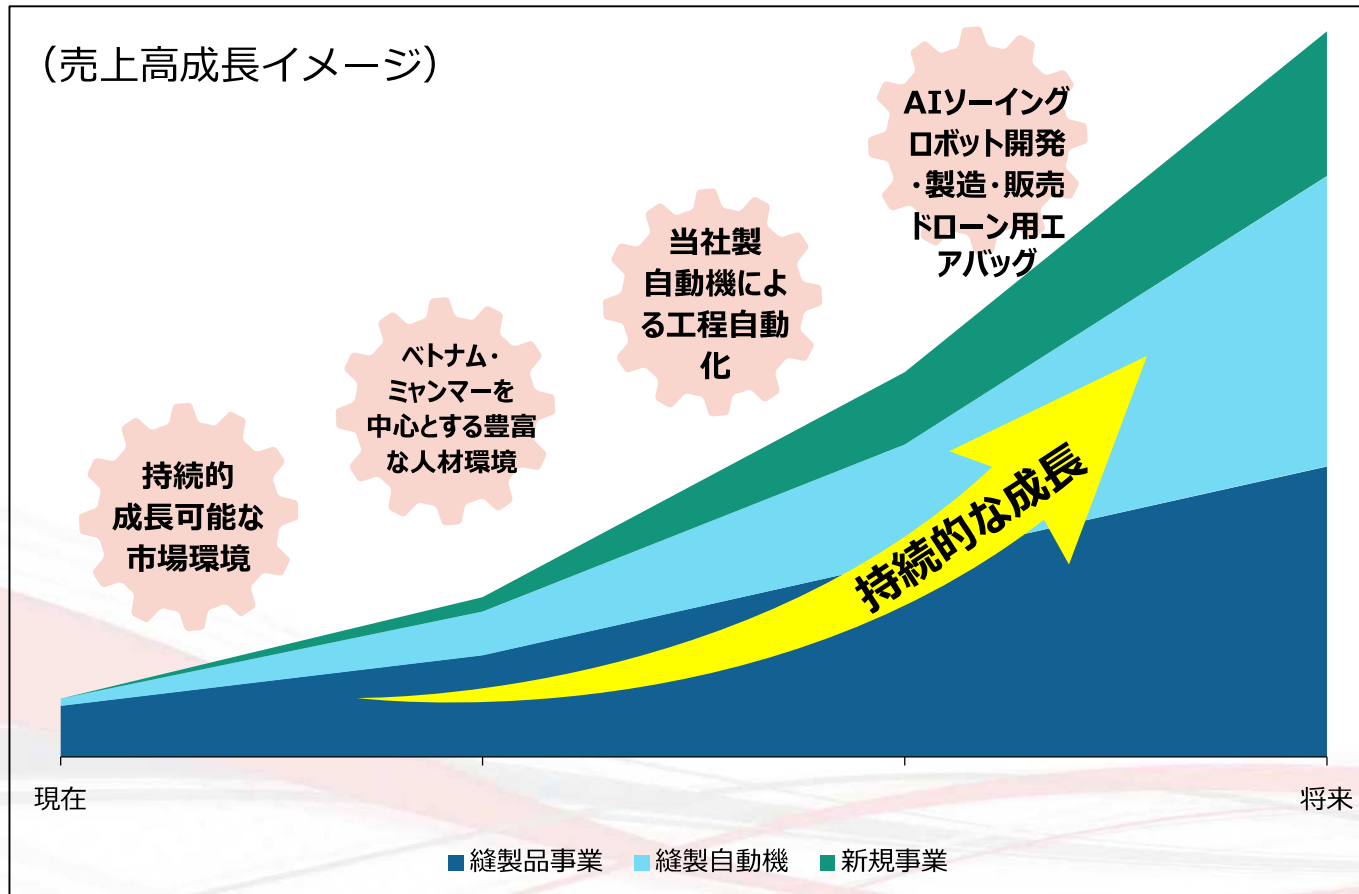
空飛ぶ車



今後の成長戦略

安定収入を生み出す縫製品事業を基盤に次世代縫製自動機の開発及び新規事業を中心に経営資源を投入し、持続的な成長を目指します。

(売上高成長イメージ)



(新規事業)

- ・ドローン用エアバッグの開発・実用化
- ・ロボットS I の教育・派遣、E C 事業・・・etc

(縫製自動機事業)

- ・A I ソーイングロボット、画像A I 検査装置を活用した自動化ラインの開発
- ・業務提携により次世代縫製自動機の開発促進を行う。

(縫製品事業)

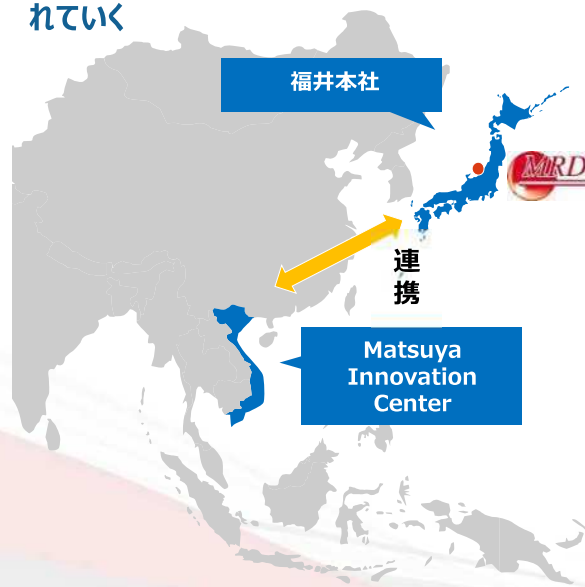
- ・ベトナム、ミャンマーにおける生産基盤を活かし、新規顧客獲得（複数の商談あり）
- ・メディカル部門（血圧計腕帯、防護服、ウェアラブル等）の強化
- ・業務提携、M & A を視野にした事業拡大→ベトナム、ミャンマーとの連携により生産能力拡大が可能。

次世代縫製自動機の開発

- ・ベトナムのイノベーションセンターと日本本社と連携し、ロボット主体の自動生産ライン開発を更に強化
- ・イノベーションセンターにて優秀なロボットSIを多数育成
- ・ロボットメーカーとの業務提携も視野に入れながら、次世代縫製自動機の開発を促進



・日本とベトナムが連携してAIを開発し、優秀な人材を育成し、派遣も視野に入れている



M I Cにおける主な開発テーマ

AIソーイングロボット

- ・双腕ロボットと画像処理システムを導入した縫製装置の開発
- ・関連特許を日本で取得済み、アメリカにおいては査定取得、欧州、中国にて申請中

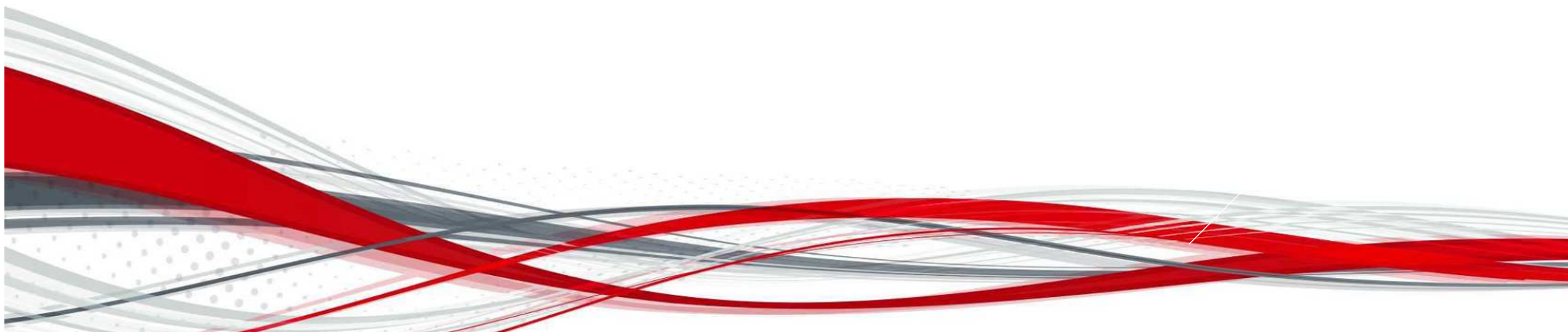
画像A I 検査システム

- ・エアバッグやカーシートの品質検査に使用することを目的として開発中

ミシン下糸検知器 ...etc

Matsuya Innovation Centerの技術者12名まで増加（11月19日時点）。

(参考) 会社概要



会社概要

会 社 名	株式会社 松屋アールアンドディ
設 立	1982年8月7日
上 場 市 場	東証マザーズ 証券コード 7317
本 社	福井県大野市鋤掛20-1-2
資 本 金	270百万円（現時点）
代 表 者	代表取締役社長 C E O 後藤 秀隆
事 業 内 容	自動車安全装置縫合システムの開発・製造・販売、 レーザー裁断機の開発・製造・販売、 血圧計腕帯の製造、カーシートカバーの生産 等
従 業 員 数	1,370名（2020年3月末時点）
拠 点	海外拠点：3 拠点（中国：上海市・ベトナム：ドンナイ省・ミャンマー：ヤンゴン州） 国内子会社：1 拠点（宮城県：栗原市）



縫製自動機事業の内容

弊社はミシンメーカーではなく、コンサルティングを起点に、自社開発のハード・ソフトを組み合わせ

人手に頼っている作業をAI搭載ロボットに置き換え、**縫製ラインの自動化**を実現し、作業者を3K作業（きつい・汚い・危険）から解放する企業である。

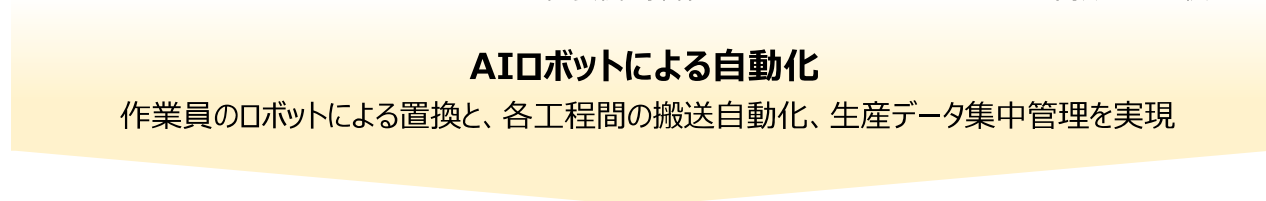
縫製ラインで働く
現状の人数

約 **14** 名

機械に置き換えて
人員の削減を図る

目標の人数

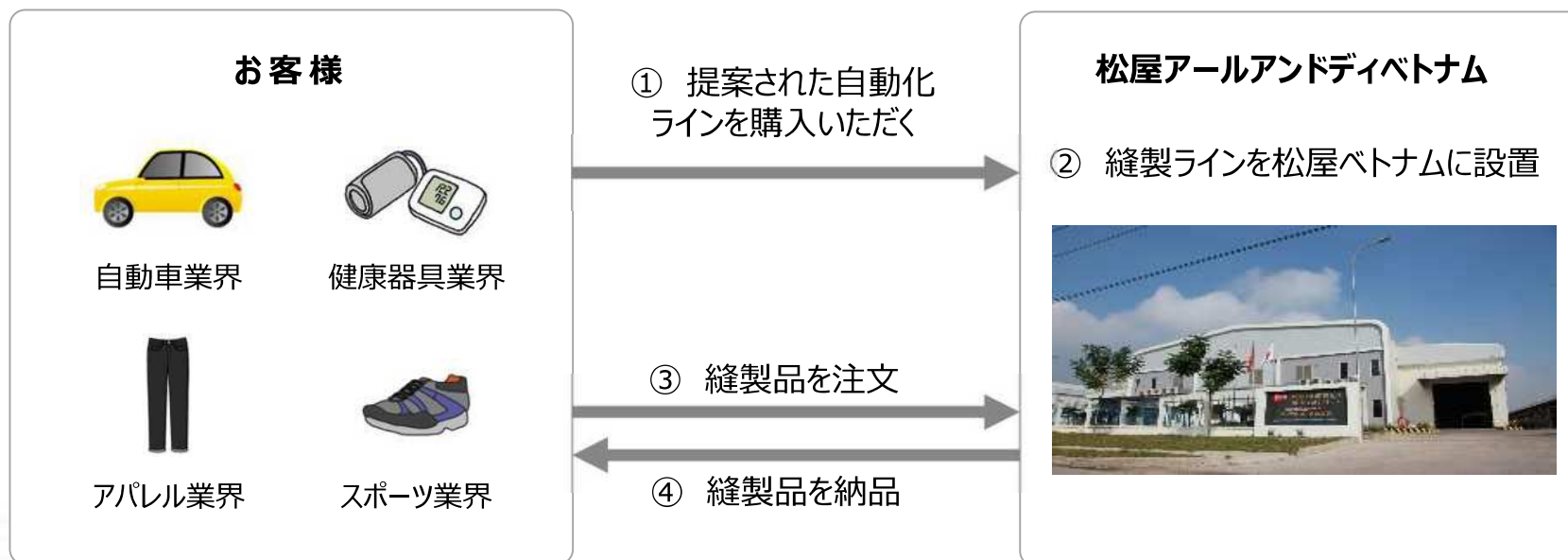
約 **4** 名



独自の縫製品事業ビジネスモデル

従来の縫製工場と違って

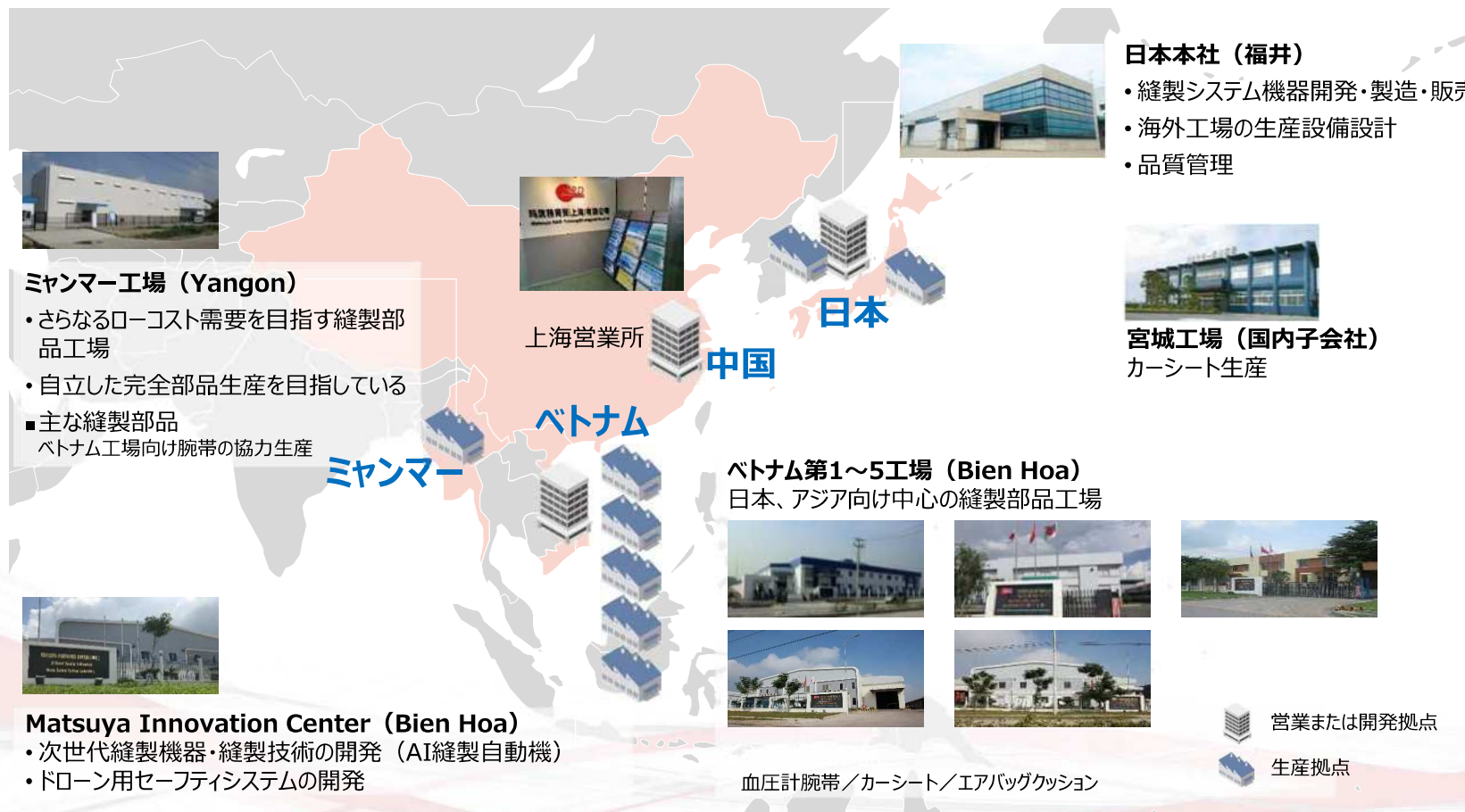
顧客負担で縫製自動機を購入するため、弊社の投資が少なく、急速な事業拡大が可能



縫製品製造に関するノウハウを蓄積し、
安定的に高い利益率を確保することが可能

グローバル生産&営業・開発体制

アジアを中心に生産拠点を設け、低コスト生産体制を構築



縫製自動機事業および縫製品事業の拡大

AI縫製ロボットを駆使した自動化ラインの構築を機に
縫製自動機事業、縫製品事業それぞれの受注を拡大

新たな業界への拡大

Medical Healthcare

医療用縫合装置の開発

Anti Virus分野(防護服、ガウン)の縫製自動機及び縫製品

最先端ウェアラブル機器

Safety System

AI Sewing Robot

省力化ラインの推進

ドローン用エアバッグ



(注意事項)

本資料には、将来の見通しに関する見通しや、事業戦略が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性が含まれており、実際の業績等が、これらの見通しや予測とは異なる結果となる可能性があります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界、ならびに市場状況、金利、為替変動等の国内外の経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事があっても、当社は、これらの見通し情報の更新や修正を行う義務を負うものではありません。

(本資料に関するお問い合わせ)

株式会社松屋アールアンドディ IR担当

<http://www.matsuyard.com/>

Email : matsuya@matsuyard.com